

広報

# まつど

主な内容

- 千葉県合併推進構想・平成の大合併 ほか …… 2・3
- 松戸市の選択 ほか …………… 4

2008. No1309

3/25

発行/松戸市 編集/総務企画本部 政策調整課  
〒271-8588 松戸市根本387-5 ☎047-366-7072 ☎047-366-1204  
e-mail mcseisaku@city.matsudo.chiba.jp http://www.city.matsudo.chiba.jp/

江戸川から見た松戸

## 少子化・高齢化・人口減少社会にむけて



森のホール 21

# みんなで松戸市の将来を考えてみませんか

日本は少子高齢化が進み、人口減少時代を迎え、この初めての大きな課題に対して、多くの対応を迫られる現状となっています。特に基礎的な自治体である市町村は地方分権・三位一体の改革などの流れのなかで、これまで以上に行財政基盤を強化し、地域特性を生かした行政運営が求められています。松戸市のように首都圏に位置する自治体においては、地方に比べて人口減少は緩やかな進行となるようですが、高齢化は急速に進むと予測されています。高齢化が進み働く人が少なくなることは、税収が減少する一方で、福祉や医療にかかる費用が増えていくことが予測されています。自治体は、このような状況の中で、その他にも住民サービスを提供していくことが求められています。

近年では、平成の大合併があり、大合併もすでに第2ステージといわれる段階に入ってきており政令指定都市や中核市など、より権限の大きな都市を目指す動きも活発に行われています。全国的には道州制という考え方が示され、地方自治体のあり方を問われているなかで、私たちの松戸市の将来について考えてみませんか。

### 松戸市について

松戸市は今年で市制施行65周年を迎えます。

今日の松戸市になるまでには、さまざまな経過と歴史があります。

まず、昭和8年に松戸町と明村が合併し、さらに、昭和13年に八柱村と合併しました。

その松戸町が、昭和18年に馬橋村、高木村と合併して、千葉県7番目の市として、人口4万人ほどの松戸市が誕生しました。

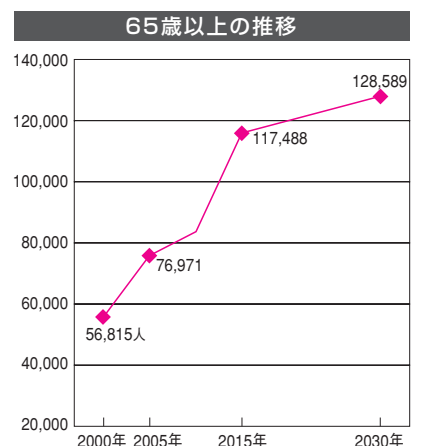
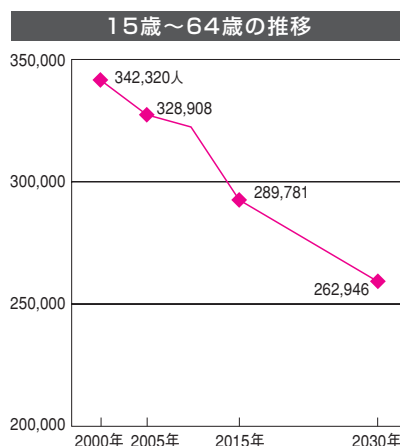
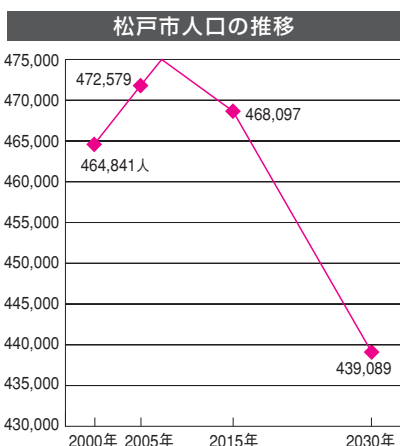
この間には、昭和11年に常磐線の上野―松戸間が電化され上野まで23分ほどで結ばれ、これが、松戸の発展に大きく寄与しました。

そして、昭和の大合併においては、昭和29年に東葛飾市（現在の柏市）の一部となっていた、旧小金町地区を編入し人口6万6千人となり、昭和31年には、沼南村の一部を編入して、ほぼ現在の市域となりました。

松戸市の立地は、東京都心から20km圏に位置することから、東京のベッドタウンといわれ、急速に発展してきました。中でも、昭和35年～55年にかけては、毎年1万人～2万人のペースで人口増加を記録し、現在の人口は、約47万人となっています。人口規模を比較すると、千葉県では3番目、全国でも29番目（2005年国勢調査）となります。

この国勢調査によりますと、東京へ通勤している人の割合は約39%、通学している人の割合は約27%となっています。

また、市内には、JR常磐線・武蔵野線、新京成線、北総鉄道、流山鉄道、東武野田線が走っており、23の鉄道駅があります。市内の大部分の住宅地域（市街地）から、徒歩15分程度で駅まで出ることができるという利便性をもっています。



※国立社会保障・人口問題研究所平成15年12月推計値および平成17年（2005年）国勢調査数値

## 人口減少と少子高齢化の現状と予測

日本の社会構造は、少子高齢化社会の到来で大きく変化しつつあります。日本の人口は戦後の第1次ベビーブームのころには合計特殊出生率(以下:出生率)は4.5以上の高い数値を示して増加傾向が強くなっていました。しかし1950年代には3.0を割り、1975年には2.0を割り込むようになって、将来人口の減少が予測されるようになりました。さらに2003年より1.3を割り、2005年には1.26となりました。現在も出生率は1.3程度で推移し、人口の減少傾向は続いています。全国的に見ると、2005年から2030年までには総人口の約8%が減少し、税金を納めることができる働き手である生産年齢人口(15~64歳)は約18%減少すると予想されています。千葉県では2005年に600万人を超えていた人口が、2030年には576万人と予測され約24万人程度が減少します。また、これとは反対に高齢化率は年々上昇しています。高齢者の人口は100万人から170万人に増え、その反面、生産年齢人口(15~64歳)は、約420万人から340万人へ約80万人の減少が予測されています。これは千葉県内だけでも70万人増えた高齢者を、80万人減った人たちで支えていかなければならないということです。

松戸市では2005年の高齢化率は16.3%で高齢者人口は77,000人、これが2030年の予測では高齢化率はほぼ2倍の29.3%で、人口は129,000人となります。このことにより、高齢者に対する福祉等の需要は当然高くなってきますが、生産年齢人口の減少により税収は厳しい状況となります。この状況はやはり近隣市でも(下記表参照)多少のばらつきはあるものの、同様の傾向がみられます。

人口と高齢化の見通し

市名(面積km <sup>2</sup> )	2005年(平成17年 国勢調査)			2030年(平成42年)			2005年~2030年増減比較		
	人口(人)	高齢者数(人)	高齢化率	人口(人)	高齢者数(人)	高齢化率	人口(人)	高齢者(人)	高齢者伸び率
松戸市(61.33)	472,579	76,971	16.3%	439,089	128,589	29.3%	-33,490	+51,628	1.67倍
柏市(114.90)	380,963	62,383	16.4%	368,337	113,577	30.9%	-12,626	+51,194	1.82倍
市川市(57.44)	466,608	65,743	14.1%	435,987	117,078	26.9%	-30,621	+51,335	1.78倍
流山市(35.28)	152,641	26,046	17.1%	146,623	45,259	30.9%	-6,018	+19,213	1.74倍
船橋市(85.69)	569,835	93,543	16.4%	513,867	143,852	28.0%	-55,968	+50,309	1.53倍
鎌ヶ谷市(21.11)	102,812	17,685	17.2%	98,801	31,619	32.0%	-4,011	+13,934	1.79倍
我孫子市(43.19)	131,205	23,588	18.0%	122,599	40,679	33.2%	-8,606	+17,091	1.72倍
野田市(103.54)	151,240	26,459	17.5%	134,005	44,486	33.2%	-17,235	+18,027	1.68倍
浦安市(17.30)	155,290	14,201	9.1%	161,611	37,966	23.5%	6,321	+23,765	2.67倍

※国立社会保障・人口問題研究所平成15年12月推計

## 平成の大合併

平成の大合併は、平成11年4月(1999年)兵庫県篠山市の誕生からはじまり、平成19年12月までに3232市町村から1798市町村に再編されました。平成20年7月1日にはさらに合併が進み1788市町村になる予定です。

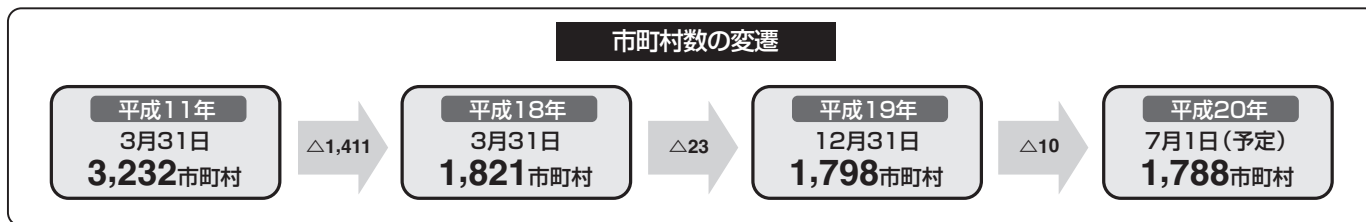
昭和40年(1965年)に施行された「市町村の合併の特例に関する法律(合併特例法)」が、平成11年に手厚い財政支援などを受けられる内容に変更されました。その合併申請期限が平成17年3月31日(2005年)であったため、各地で合併協議が急速に進みました。平成に入って市町村合併が推進されたのは、地方分権社会の推進、少子高齢化社会への対応、国・地方の厳しい財政状況への対応が求められるようになったためでした。さらには、多様化・高度化する住民ニーズへの対応、生活圏の広域化も合併の推進理由になりました。

平成17年4月(2005年)からは、合併特例法に代わる合併新法(市町村の合併の特例等に関する法律)が平成22年3月(2010年)までの5年間適用されています。

新法ではこれまでの合併特例債は廃止され、手厚い財政支援はなくなりました。ただし人口3万人の市制や議員特例などの合併への障害除去のための特例措置が延長され、そのほかにも、特例で可能となる要件が追加されました。また、都道府県が市町村合併推進構想に基づき、合併協議会設置の勧告などができるようになりました。総務大臣の基本指針では合併構想の策定にあたって、

1. 生活圏が同じで一つの行政区域になることが望ましい市町村、  
2. 更に充実した行政権能等を有する指定都市・中核市等を目指す市町村、  
3. おおむね人口1万人未満を目安とする小規模な市町村。この3つが合併促進の対象となっています。合併を考えた場合、松戸市は2番目に該当します。

市町村数の変遷



## 政令指定都市とは？

### 全国にはいくつあるの？

全国的には人口70万人程度から350万人を超える規模までさまざまですが、17の政令指定都市があります。

大きな都市には人口や産業が集まるため、質的にも高度で多様な行政サービスが必要となります。そこで「地方自治法で大都市に関する特例」を設け国が政令で指定した大都市には、行財政面で一般に市とは違う取り扱いができるようにしています。



### 政令指定都市になるには

法律では「政令で指定する人口50万人以上の都市」という規定がありますが、以前までは人口100万人程度が一つの目安となっていました。

近年では静岡市・浜松市・新潟市など人口70万人程度の政令指定都市が誕生しています。松戸市は人口47万人ですから、隣接する柏市や市川市等と合併が必要となります。

合併はどことするか、新市の名称はどうするか、サービス水準を保てるか、などさまざまなことを一つひとつ決めていかなければなりません。

### まちはどう変わるのだろうか？

#### ◆区(行政区)設置

市内にいくつかの行政区を設けます。近いところでは千葉市やさいたま市のような区ができます。一つの区の人口は10万人~20万人程度になります。市役所で行っていた市民向けの業務は区役所で行います。

#### ◆市民サービスの向上

県が行っている事務のうち、市内の一般国道や県道の管理、児童相談所の設置など市民にかかわりの深い業務を市が直接処理します。

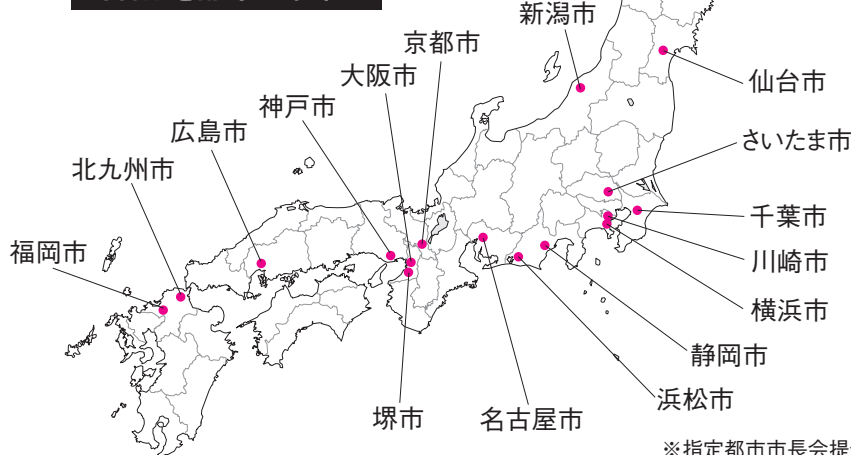
#### ◆新たな財源

財政上の特例が認められ、新たな財源が交付されます。宝くじの発売もできるようになり、これも新たな財源となります。

#### ◆イメージの向上

全国的にも国際的にも認知度が高まります。全国的なランキング調査の場合、県庁所在地と政令指定都市で行われるものも多くあります。

各指定都市の位置



※指定都市市長会提供



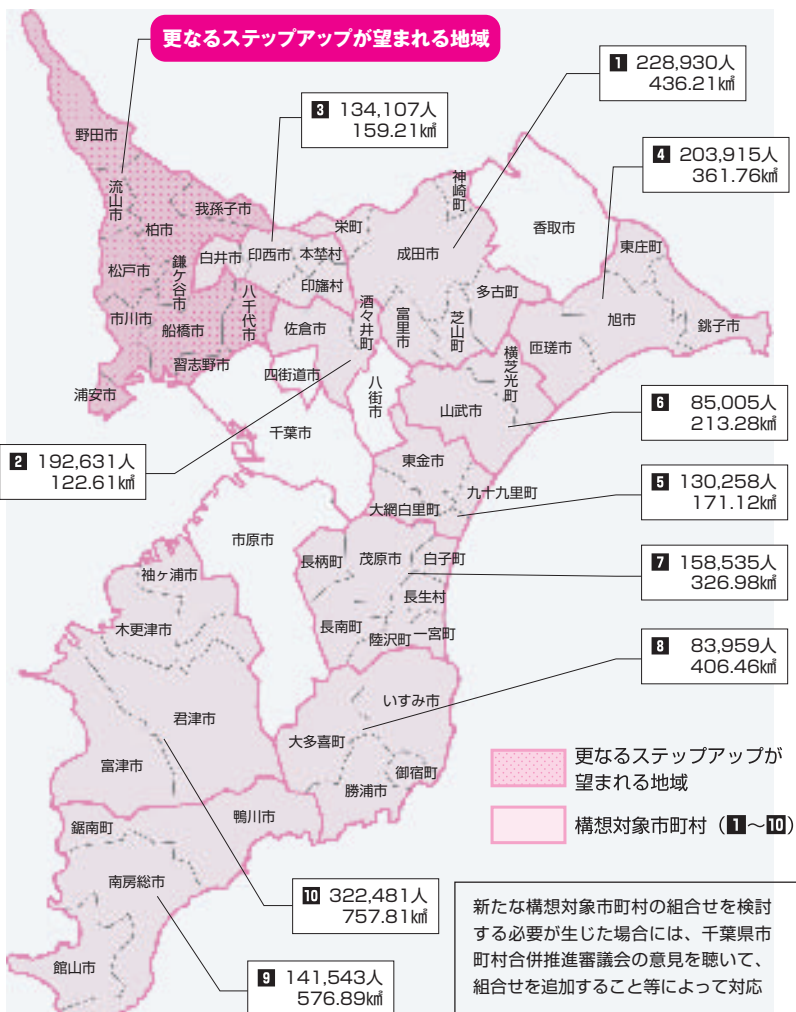
# 千葉県合併推進構想

## 東葛飾・葛南地域の概要

千葉県の市町村合併は旧合併特例法(平成17年3月31日失効)の下で、平成15年6月の野田市と関宿町の合併でスタートしました。県内11地域35市町村において、合併がおこなわれました。その結果80市町村(33市42町5村)が56市町村(36市17町3村)に再編されました。千葉県では、ここまでの合併を第1ステージとしています。今後の市町村合併を第2ステージとし、県内の自治体を、人口約10万人程度にする方向で考え、組合せを示しています。そのなかで、東葛飾・葛南の11市は全ての市が人口10万人を超えていることから、政令指定都市を目指すべき「更なるステップアップが望まれる地域」として位置付けられています。

### 更なるステップアップが望まれる地域と構想対象市町村の組合せ

本構想では、「基礎自治体のあるべき姿」や「県全体にとっての望ましい姿」を考慮し、10地域40市町村を構想対象市町村として位置付け、東葛飾・葛南地域は「更なるステップアップが望まれる地域」として県の考え方を整理しました。



#### 千葉県の基本的な考え方

- 千葉県では、市町村合併を「分権型社会にふさわしい基礎自治体の進化」と位置づけ、また地域社会の課題克服や地域活性化のための有効な手段として考えています。
- 千葉県には、学術・産業・交流基盤が集まる地域と、豊かな自然景観など優れた観光資源や首都圏の食料基地としての活発な農林水産業を有する地域がともにあり、発展の方向性は同じではありません。
- 市町村や住民が自ら地域社会を創造していく中で、豊かな地域社会を孫・子の世代に引継ぐために、それぞれの地域の基礎自治体がどうあるべきか、皆さんが真剣に検討し、積極的に協議していただきたいと考えています。

## 市とは？

一言で「市」といっても、多くの方は自分が住んでいる市とその周辺、以前に住んでいた市などを除いては、あまり関心がないと思います。ここで、市の制度について説明します。

市町村は「基礎自治体」と言われ、首長(市町村長)や議会を有し、直接市民サービスを実施しています。市には、さまざまな面で違いがあります。人口3万人程度の市から、人口350万人を超える規模まであります。人口350万人を超える市とは、横浜市で、もちろん日本で一番人口の多い市です。千葉県の人口が約600万人、茨城県の人口が約300万人、鳥取県の人口が約60万人ですから、いかに多いかがお分かりになるでしょう。また、日本で一番面積の広い市は、岐阜県の高山市です。高山市は大阪府や香川県よりも広い市です。一番狭い市は埼玉県の蕨市で松戸市の約1/12の広さです。市といってもこの

### 更なるステップアップが望まれる地域(東葛飾・葛南地域)

野田市、流山市、我孫子市、柏市、松戸市、鎌ヶ谷市、市川市、船橋市、習志野市、浦安市、八千代市

#### 基本的な考え方

- すべての市が人口10万人以上を有しており、自治体として一定程度の自立性と総合性
- 現在、政令指定都市のメリットなどを東葛飾・葛南地域それぞれ自主的に調査・研究
- ⇒本構想においては、構想対象市町村として位置付けませんが、この地域の特性と今後の方向性について整理し、政令指定都市を目指すべき「更なるステップアップが望まれる地域」として位置付けました。

#### 地域の特性

各市の区域を越えて市街地が広がっています

通勤や通学圏、商圈とも、東京の影響を強く受けつつも幹線交通網を基盤に、各市の区域を越えて生活圏が形成されています。

- ◆市川市、船橋市、習志野市が総武線と京成線、浦安市、市川市、船橋市、八千代市が地下鉄東西線と東葉高速鉄道、京葉道路、東関東自動車道、国道14号、国道357号などの幹線道路網でそれぞれ結ばれています。
- ◆松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市は、常磐線、つくばエクスプレス、東武野田線をはじめとする鉄道網、常磐自動車道や国道6号、国道16号などの幹線道路網で縦横に結ばれています。

⇒住民の生活圏にあわせてまちづくりを担うことで、住民の満足度を高めていくことが期待できます。



ようにさまざまです。

市の持つ権限は、人口によって違ってきます。人口や産業が集中する大都市になるほど行政サービスも高度で専門的なものが必要になってきます。人口規模別による市の制度は以下のように分類されています。

#### 都市制度と主な権限

<b>一般市</b> 人口5万人以上 ●生活保護など福祉事務所の事務 など ※合併特例で3万人あり	<b>特例市</b> 人口20万人以上 ●開発行為の許可など都市計画に関する事務 ●水質汚濁防止など環境保全行政 など ※特に財源の移譲なし	<b>中核市</b> 人口30万人以上 ●保健所の設置 ●身体障害者手帳の交付 ●保育園・特別養護老人ホームなどの設置許可・監督などの福祉行政 ●屋外広告物の条例による設置制限 など ※特に財源の移譲なし	<b>政令指定都市</b> 人口80万人以上 ●市内の国道及び県道の管理 ●小中学校の教職員の任免に関する事務 ●児童相談所の設置 ※合併特例で70万人もあり ※財源の移譲あり
--	--	---	--

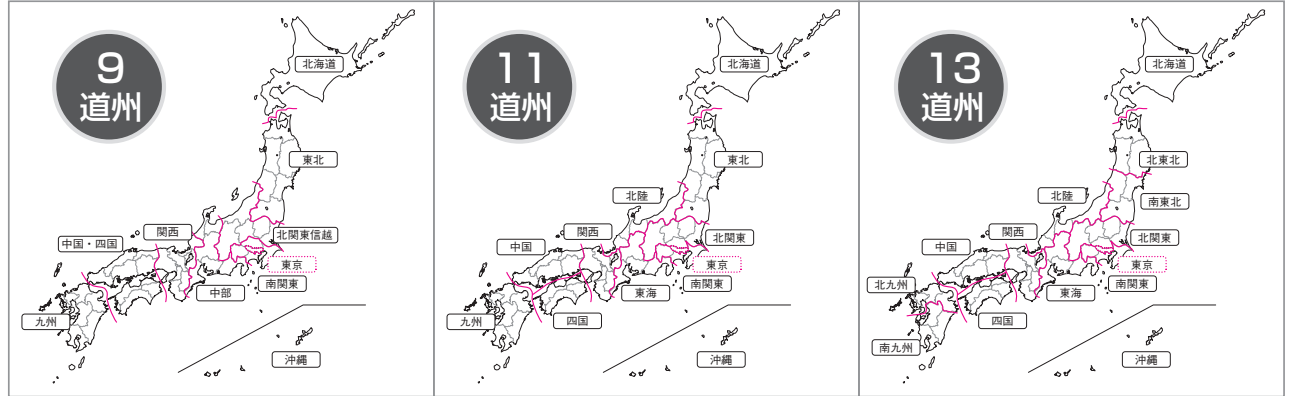


## 道州制とは？

道州制とは？

「現在の都道府県制度を廃止して、複数の都道府県をベースに統合した面積規模を持つ広域的な行政体をつくり、自立のための権限を与える制度」です。この一つの広域的な行政体を「道・州」と呼ぶことから「道州制」と呼ばれています。

現在と大きく異なる点は、現在の日本は「中央政府」という、一つの政府による全国一律的な進め方をしてきました。しかし道州制では道・州を単位として「地方政府」が管轄し、その地域に合った進め方が可能になります。道・州の首長は地方政府の長となり、現在の県知事権限を大きく越えるものとなります。そのため、州法や州税など住む地域によって大きな違いが出てくることも予想されます。



現在、国の地方制度調査会より示されている区割り（案）は下記のとおりです。埼玉県は区割りによって違いがありますが、千葉県はこの案では、いずれも南関東となっています。東京については、さまざまな意見があり、民間の研究機関などでは、南関東の州都にする、23区の一部をアメリカのワシントンDCのような特別区域にするなどの案も出ています。

## 合併によるスケールメリットとは？

地方自治体の業務のなかで「ゴミ処理」を例にとってみます。松戸市、柏市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、この東葛6市では各市（一部事務組合含）が個別に清掃工場を持っています。6市の清掃工場は8カ所で、ゴミ焼却能力は合計で約1800tとなっています。しかし、実際のゴミの量は約970tで焼却能力の約半分ほどしかないのです。100tのゴミ焼却施設の建設費用は100億円といわれています。松戸市規模の市となると、一基300tの清掃工場を建設しなければなりません。東葛地域全体でみれば、清掃工場の3割から4割ほどは、結果的になくてもゴミの処理ができる計算になります。なぜこ

のようなことが起きるのでしょうか。それは「ゴミは自区内処理を原則」としているため、各市で清掃工場を建設しなければならないからです。また、多くの皆さんは一般的には「清掃工場は迷惑施設」として認識されていますので、他市でゴミ処理をお願いすることは、非常に難しいという現状があります。しかし100tから300t分の清掃工場を建設しなくて済めば100億円単位の財源を教育や福祉、少子化・高齢化対策など他の事業に使うことができる可能性があります。このように、効率的に物事を進めていくためには、合併という選択肢は検討に値すると考えられるでしょう。

### 政令指定都市問題研究会

東葛広域行政連絡協議会の下部組織として、平成18年5月8日に設置しました。

研究会では、政令指定都市制度の研究や広域的課題の整理を行うとともに、構成市である6市の基礎データの収集や分析を行い、今後の政令指定都市の議論に役立てるため調査・研究を行っています。

結果については、平成20年5月公表を予定しています。

6市合計の人口は139万人になります。

市名	人口
松戸市	472,579
柏市	380,963
流山市	152,641
鎌ヶ谷市	102,812
我孫子市	131,205
野田市	151,240
合計	1,391,440

### 東葛飾・葛南地域4市政令指定都市研究会

任意の研究会として「広域行政に関する研究会（松戸・市川・船橋・鎌ヶ谷・習志野・白井・八千代）」が平成18年5月に発足しました。

その中で、課題認識を共有する東葛飾・葛南地域の4市（松戸市・市川市・船橋市・鎌ヶ谷市）は、圏域の将来的なあり方を考える際の選択肢の一つとして、平成19年度から20年度までの2年間で、合併・政令指定都市移行について、市民とともに考え、政策判断を行う上での資料とするため、その効果や影響、意義等について、研究を行っています。

中間報告を20年3月末に行い、最終報告は平成20年度末に公表を予定しています。

4市合計の人口は161万人になります。

市名	人口
松戸市	472,579
市川市	466,608
船橋市	569,835
鎌ヶ谷市	102,812
合計	1,611,834

## 松戸市の選択は

松戸市は、人口47万人を擁する、県内3番目に人口の多い市であり、希望をすれば中核市になることができます。しかしながら中核市になることは、現状では市にとっても、市民の皆さんにとってもあまりメリットのあることとは考えていません。

中核市は以前まで、人口30万人・面積100km<sup>2</sup>の要件がありました。その当時、お隣の柏市は沼南町との合併を期に、この要件を満たし合併の約束として中核市を目指すことになっており、平成20年4月より中核市になります。現在は、面積要件100km<sup>2</sup>がなくなり、人口30万人以上で中核市になることができます。首都圏では松戸市・柏市以外に「市川市、越谷市、川口市、八王子市、所沢市、町田市、藤沢市」などがあります。

松戸市の場合、中核市への移行に伴う財源の支出は20億円を超えると試算されていますが、これに伴う収入の増を見込むことができません。簡単に言えば、今まで使っていた費用を20億円分削らなければなりません。また地方分権や道州制の議論の進展を考えると、より自立性の高い「政令指定都市」への移行について研究を行う必要性があると考えています。具体的には、「松戸市の北側に隣接する柏市などとの合併による政令指定都市」、または「南側に隣接する市川市などとの合併による政令指定都市」などが考えられます。いずれも人口80万人を超え、将来的には人口100万人を目指すことが可能なものと考えています。

しかし、47万人の人口を擁する市ですから、当然のこととして、「合併はしない。このままの松戸市で」という選択肢もあります。

松戸市としては、大きくはこの3つの選択肢が考えられますが、本市の将来をどう描いていくかは、市民の皆さんとじっくり議論し、方向性を見定めていかなければなりません。合併や政令指定都市のような松戸市の将来にかかわる重要な事項は、市民の皆さんの意向が大切です。しかしながら、少子高齢化による課題は30年40年も待つてくれるものでもありません。松戸市としては、引き続き研究し、市民の皆さんに判断材料を提供していきます。ご意見等があればお寄せください。

総務省

ホームページ [http://www.soumu.go.jp/menu\\_02/chiho/index.html](http://www.soumu.go.jp/menu_02/chiho/index.html)  
住所：東京都千代田区霞ヶ関2-1-2

千葉県庁 市町村課  
市町村合併支援室

ホームページ <http://www.pref.chiba.jp/syozoku/ashichou/index.html>  
住所：千葉市中央区市場町1-1 ☎043-223-2110（代表）

松戸市役所  
総務企画本部  
政策調整課

ホームページ <http://www.city.matsudo.chiba.jp/index.html>  
お知らせの 総務・企画・採用 をクリック  
お問合せ先：松戸市根本387-5 ☎366-7072(直通) ㊚366-1204  
E-mail [mcseisaku@city.matsudo.chiba.jp](mailto:mcseisaku@city.matsudo.chiba.jp)